

ヒューマンエラー体感 学習システム 「シムエラー」

【概要】

パソコンでさまざまなヒューマンエラーを経験することにより、自分もヒューマンエラーを起こす可能性があることを体感し（ヒューマンエラーの自覚）、ヒューマンエラーの発生要因や事故との関係、指差喚呼を中心としたヒューマンエラー防止対策の効果を学ぶシステム「シムエラー」です。

【特徴】

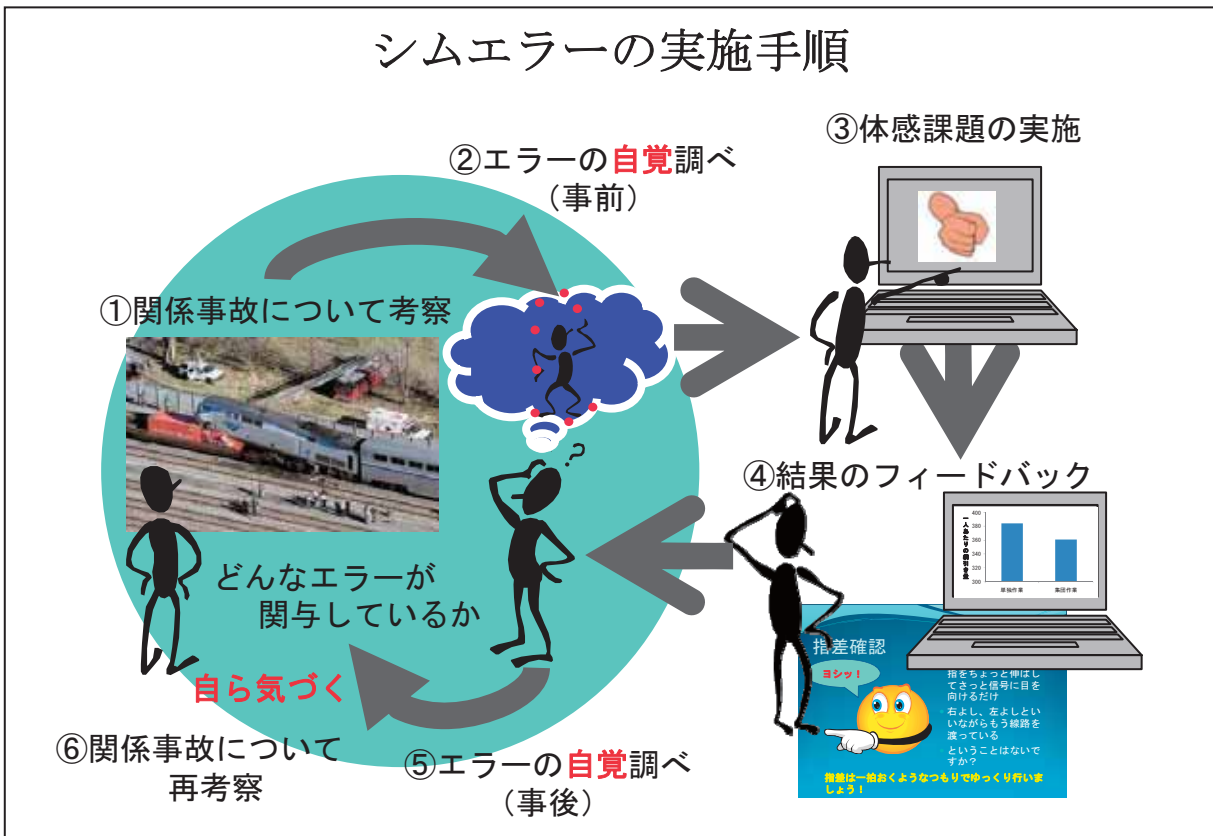
- ・ パソコンを用いたシステム
- ・ さまざまなヒューマンエラーの体感が可能（自覚・要因学習）
- ・ 指差喚呼の効果の体感的な学習が可能
- ・ 自らの気づきに重点を置いた学習ソフト



【用途】

- ・ ヒューマンエラーの発生要因に関する現場職員の安全教育
- ・ 指差喚呼の現場指導
- ・ 作業現場における自主学習ツール

シミュラーの実施手順



体感課題

ヒューマンエラー課題

体感できるヒューマンエラー	体感課題
見間違い	漢字読み課題、 数字読み課題
思い違い	水がめ課題
し間違い	反復書字課題
し忘れ	展望記憶課題

指差喚呼課題

体感できる指差喚呼の効果	体感課題
指差による視線の集中	点数え課題
指差による意識の強化	後出しジャンケン課題
声出による記憶の促進	N-バック課題
声出によるエラーの気づき	ゴー/ストップ課題
指差と声出による覚せいの維持	時計監視課題

特開2009-210785

(財) 鉄道総合技術研究所 人間科学研究部 (安全心理研究室)